# 実践できそうな事例を選び、実践の見通しをもとう(第3回/全5回)

### 研修のゴール

StuDX Styleの掲載事例を参考にして、活用の第一歩を踏み出す機会とする。

所要時間の目安/1グループの目安人数

20分程度/1グループ4名程度

### 準備物·資料

- 資料4 (慣れる・つながる事例一覧)
- <u>資料5</u> ("すぐにでも" "どの教科でも" "誰でも" 活かせる1人1台端末の活用シーン)
- ワークシートイメージ3

### 研修の主な内容・流れ

○「慣れる・つながる事例一覧」「"すぐにでも" "どの教科でも""誰でも"活かせる1人1台端 末の活用シーン」等の資料を参考に、実践で きそうな事例を選び、どのような形で実践でき そうか交流する。(17分)





○ 研修のまとめを行う。(3分)

## 研修を進める際の手立てと工夫



「各自で資料4や資料5を見て、実践できそ そうな事例について、互いに意見交換しま しょう。 |



「1-⑥ 『短時間の積み重ねでスキルアップ』 の事例を参考に、朝の時間にキーボード入 力の練習をしてみようと思います。 |



「2-⑦ 『連絡帳を書こう』の事例のように、 クラウド上の掲示板を活用するのも効果的 ですね。|



研修担当者

「実践していく上で、子供の実態に合わせて アレンジしたり工夫したりする点について、意 見交換しましょう。」



「私はキーボード入力の練習を年度初めに 集中して行ったので、その後の活用が進み ました。おすすめのやり方です。」



「低学年は写真に撮って、高学年は文字で入力して、学習支援ツールに保存することで、時間を削減することができますね。」

### 【ポイント】

前回の研修ではStuDX Styleの全体像をつかみました。その次の段階としては、掲載されている事例等を参考に、実際の活用に向けての見通しやイメージをもつことが重要です。

今回の研修では「慣れる・つながる活用事例」を 参考にしてきましたが、他にも、各教科等の事例や 特集ページの内容を参考にするなど、今後の取組 につなげていきましょう。